

## 李 善姫

### 【論文】

「従属節の動詞が韓国語の移動動詞の場合の従属節と主節の意味的な関係—従属節の動詞が어서で現れる文を中心に—」

明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第17巻（2023年3月掲載予定）

## 池田 昭光

### 【論文】

「中東・北アフリカにおける高等教育の文化人類学的研究——予備的考察としての研究例紹介」明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第17巻（2023年3月掲載予定）

「不信から生まれる信頼？——モロッコ・ベルベル人の「寛容」を中心に」『イスラーム信頼学へのいざない』黒木英充・後藤絵美（編）、東京大学出版会（2023年3月刊行予定）

## 塩谷 祐人

### 【著書】

『表現パターンを身につけるフランス語作文』（白水社、2022年9月）

## 徐 正敏

### 【著書】

『日本という隣人』（韓国語）、ドンヨン出版社、2022年、全体256頁

### 【監訳】

『儒学から見出した韓国キリスト教の成長』、かんよう出版、2022年、全体292頁

**【共著】**

『靈性と社会聖化』（韓国語）、天地文化出版社、2022年、398-429頁（全体970頁）

『メタバース時代の神学と牧会-延世神学文庫011』（韓国語）、ドンヨン出版社、2022年、50-57頁（全体214頁）

『風流神学百年-柳東植教授上寿記念文集』（韓国語）、ドンヨン出版社、2022年、325-339頁（全体373頁）

**【編著】**

『TK生池明観アジアからの通信—池明観先生第一周期追慕文集』（韓国語）、ドンヨン出版社、2023年、全体239頁

## 徳間 晴美

**【研究報告】**

「場面（人間関係と場）の動態性と主体的なとらえ方」『待遇コミュニケーション』第19巻、68-72 待遇コミュニケーション学会 2022年4月

「待遇コミュニケーションの理論的枠組み（2021年度版）」『待遇コミュニケーション』第19巻、89-128 待遇コミュニケーション学会 2022年4月

共同執筆者：アドゥアヨム・アヘゴ希佳子、李ジウォン、任ジェヒ、蒲谷宏

**【学会発表】**

運営委員会企画「待遇コミュニケーションにおける「丁寧さ」を考える」待遇コミュニケーション学会2022年秋季大会（15周年記念大会 オンライン開催）（2022年10月22日）

共同発表者：アドゥアヨム・アヘゴ希佳子、李ジウォン、任ジェヒ、蒲谷宏

「アルバイト経験を通して得ている待遇コミュニケーションに関する学び—小学校でアルバイトをする留学生Tの事例分析—」第47回社会言語科学会研究大会 東京国際大学第二キャンパス（2023年3月18日発表予定）

## 野副 朋子

### 【論文】

野副 朋子、「ゲノム編集トマトを用いた実験実習」、明治学院大学教養教育センター紀要『カルチュラル』第17巻（2023年3月掲載予定）

### 【調査・研究報告】

タルホコムギの多様性導入による乾燥地の塩類集積土壌で生育可能なパンコムギの創生、Generation of bread wheat which are tolerate to the alkaline salt affected soil in drought climate area、鳥取大学乾燥地研究センター令和4年共同研究発表会（2022、鳥取）

## 福山 勝也

### 【学会発表】

The Effect of Coexistence Metal Ion for the Color in the Borax Bead Test.  
Virtual Intercontinental Assembly on Calorimetry and Thermal Analysis (VIACTA2022) (Tokyo, Japan-Online). October 25, 2022.

## 山内 薫

### 【学会発表】

「『ことば』の学びに寄り添う日本語教育―「学習と人生のつながりの軸」の形成と意識化をめざして―」教養教育センター附属研究所2021年度第2回研究報告会（対面、オンライン開催）（2022年3月23日）

「『使うあてのない日本語学習』は学習者に何をもちたらすのか」日本語教育学会大会2022年度春季大会（オンライン開催）（2022年5月21日）

「『ことば』の学びに寄り添う日本語教育―「学習と人生のつながりの軸」の形成と意識化をめざして―」言語文化教育学会第86回例会（オンライン開催）（2022年6月12日）

**【その他】**

「生活から人生への視野の拡がり」を目的とする言語教育実践『生涯学習研究e辞典』  
<http://ejiten.javea.or.jp/content50522024.html>（登録年月日：2022年10月16日）

「移動とことば」と「移動する子ども」学（鼎談：山内薫、半嶺まどか、川上郁雄）第41回早稲田  
 こども日本語研究会—「移動する子ども」学を考えるシリーズ⑩（オンライン開催）（2022年10月9日）

## Dax Thomas

**【著書】**

Kusaka, JA., Elam, Jesse. and Thomas, Dax. (2022). *Global Perspectives in the English-speaking World: Past and Present*. Tokyo: Shohakusha.

**【学会発表】**

Audio-assisted extensive reading: student perceptions of its effects on reading performance and motivation. The 14<sup>th</sup> Asian Conference on Education (Tokyo, Japan). November 29, 2022.

## ELAM Jesse

**【著書】**

Kusaka, JA, Elam, Jesse, and Thomas, Dax. (2022). *Global Perspectives in the English-speaking World: Past and Present*. Tokyo: Shohakusha.

◆上記のほか、所員の業績を、下記URLにて報告しております。  
<https://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp?courc=270000>

